

宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

適用範囲

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この宿泊約款（以下、「本約款」といいます。）の定めるところによるものとし、本約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

- 第3条 宿泊者は、本約款、並びに各利用規則に同意の上、宿泊されるものとします。
- 2 宿泊者が未成年者であり当ホテルが必要であると認めた場合は、親権者その他の法定代理人の同意を得たうえで、同意書を提出し宿泊されるものとします。
 - 3 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
 - 4 前項の規定により宿泊契約が成立したときには、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
 - 5 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第13条の規定による料金の支払いの際に返還します。
 - 6 第4項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約

- 第4条 前条第4項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第4項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取扱います。

宿泊契約締結の拒否

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、本約款によらないとき。
- (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が旅館業法（昭和23年法律第138号。その後の改正を含む。）第2条第6項に規定する特定感染症（以下「特定感染症」という。）の患者等（旅館業法第4条の2第1項第2号に規定される。以下同じ。）であるとき。
- (4) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (5) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、カスタマーハラスメント行為（別表第2）をするおそれがあると認められるとき。
- (7) 宿泊しようとする者が、賭博その他の違法行為をするおそれがあると認められるとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、喧騒な行為を行ったとき、また、危険、不安等を感じさせるなど、宿泊又は利用する他のお客様に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、次のイからハのいずれかに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (10) 宿泊しようとする者が泥酔者で、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められたとき。
（名古屋市 旅館業法施行条例 第5条）
- (11) 宿泊しようとする者が当ホテルの定める利用規則に従わないとき。

宿泊客の契約解除権

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第4項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第3に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものと処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

第7条 当ホテルは次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。なお、本条による契約の解除により生じた損害については、当ホテルは一切責任を負いません。

- (1) 宿泊客が、特定感染症の患者等であるとき。
- (2) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (3) 宿泊客が、宿泊に際し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認めら

れるとき。

- (4) 宿泊客が、宿泊に関し、カスタマーハラスメント行為（別表第2）をするおそれがあると認められるとき。
 - (5) 宿泊客が、宿泊に関し、賭博その他の違法行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (6) 宿泊客が、喧騒な行為を行ったとき、また、危険、不安等を感じさせるなど、宿泊又は利用する他のお客様に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (7) 宿泊客が次のイからハのいずれかに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (8) 宿泊客が泥酔者で、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められたとき。
（名古屋市 旅館業法施行条例 第5条）
 - (9) 未成年者の宿泊客が、親権者その他法定代理人の同意がないにもかかわらず同意があると偽ったこと、あるいは年齢を成年と偽ったことが判明した場合のとき。
 - (10) 宿泊客が当ホテルの定める利用規則に従わないとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、住所及び連絡先
 - (2) 宿泊客が日本国内に住所を有しない外国人であるときは、その国籍及び旅券番号
 - (3) 到着日及び出発日と出発予定時刻
 - (4) その他、当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第13条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード、電子マネー等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、第1項の登録時にそれらを呈示して当ホテルでの支払いに利用できることの確認を受けていただく必要があります。

宿泊定員数

第9条 客室の宿泊定員数は最大5名です。お子様の添い寝は、1正ベッドに対して1名までとなり、12歳以下のお子様は添い寝の対象となります。

客室の使用時間

第10条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日1時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 午前11時以降 午後2時まで1時間毎、御一人様1,000円、午後2時以降は、基本室料の100%
 - (2) 午後3時以前 正午まで1時間毎、御一人様1,000円正午以前は、基本室料の100%

利用規則の遵守

第11条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

営業時間

第 12 条 当ホテルのフロント等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、ホームページ、各所の掲示、客室内で御案内いたします。

フロント・キャッシャー等サービス時間

イ 門限	…………	なし
ロ フロント	…………	24 時間
ハ キャッシャー	…………	24 時間
ニ レストラン営業	…………	サービスディレクトリーに記載

- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

第 13 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード、電子マネー等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当ホテルの責任

第 14 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 2 当ホテルは、万一の火災や事故等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第 15 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得てできる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

第 16 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 1 5 万円を限度としてその損害を賠償します。

- 2 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、1 5 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第17条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

駐車場の責任

第18条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊客の責任

第19条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

宿泊約款・利用規則の変更

第20条 当ホテルは次の各号の場合に、当ホテルの裁量により、本約款ならびに利用規則（以下、「約款等」と言います。）を変更することができます。利用者はこれを異議なく承諾するものとします。

- (1) 約款等の変更が、宿泊客の一般の利益に適合するとき。
- (2) 約款等の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。
- 2 当ホテルは前項による約款等の変更にあたり、変更後の約款等の効力発生日の1か月前までに、約款等を変更する旨及び変更後の内容と、その効力発生日を当ホテルウェブサイトに掲示いたします。
- 3 変更後の約款等の効力発生日以降に宿泊客が本サービスを利用したときは、宿泊客は、約款等の変更に同意したものとみなします。

免責事項

第21条 当ホテル内からのインターネット接続サービスのご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものいたします。インターネット接続サービスのご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、インターネット接続サービスのご利用に当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

言語及び準拠法

第22条 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本文がすべての点

について優先するものとします。

- 2 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第1 宿泊料金の内訳（第2条第1項及び第13条第1項関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	② 基本宿泊料（室料） ② サービス料（①×10%）
	追加料金	③ 飲食料又は追加飲食料 ④ サービス料（③×10%） ⑤ その他の利用料金
	税金	消費税

備考1. ⑤その他の利用料金：電話代、ランドリー代、エキストラベッド代等

別表第2 カスタマーハラスメント行為（第5条第6項 及び第7条第4項関係）

宿泊料の減額その他のその内容の実現が容易でない事項の要求（宿泊に関して障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第2条第2号に規定する社会的障壁の除去を求める場合を除きます。）又は粗野又は乱暴な言動その他の従業員の心身に負担を与える言動（営業者が宿泊しようとする者に対して障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第8条第1項の不当な差別的取扱いを行ったことに起因するものその他これに準ずる合理的な理由があるものを除きます。）を交えた要求であって、当該要求をした者の接遇に通常必要とされる以上の労力を要することとなる行為（以下に例示します。）を繰り返した場合に、当該行為をカスタマーハラスメント行為とします。

- ・ 身体的な攻撃（暴行、傷害など）、精神的な攻撃（脅迫、暴言、中傷など）にあたる行為
- ・ 土下座の要求行為
- ・ 居座り、監禁等一定時間を超える拘束的行為（長時間の電話を含みます。）
- ・ 大声、暴言などで従業員を責める行為
- ・ 難癖をつけたキャンセル料の未払い、代金の返金要求、商品交換や金銭補償等の過剰要求行為（他の宿泊者と比較して、合理的な範囲を超えた過剰なサービスを要求し、宿泊料に不当な割引を要求する行為を繰り返す行為等の不当な要求を行う行為がこれに含まれます。）
- ・ 同じ質問の繰り返し、社会的相当性を欠く方法による謝罪の要求やクレーム等の責任追及行為
- ・ 運用ルールや制度上対応できないことへの過剰要求やクレーム行為
- ・ SNS やマスコミへの暴露（従業員の氏名公開など）をほのめかした脅迫行為
- ・ 特定の従業員へのつきまとい行為

別表第3 違約金（第6条第2項関係）

	不	当	前	7日	21日
--	---	---	---	----	-----

		泊	日	日	前	前
一 般	14名まで	100%	100%	20%		
団 体	15～60名まで	100%	100%	50%	20%	
	61名以上	100%	100%	100%	30%	15%

- 備考
1. %は、基本宿泊料（名）に対する違約金の比率です。
 2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
 3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。
 4. ただし、別途個別の違約金契約を結んだ場合は、その取り決めに優先します。

2025年1月15日 最終改定

宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Scope of Application

- Article 1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions (hereinafter referred to as "T&C"). Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
2. In case the Hotel has entered into a special contract with the Guests insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these T&C.

Application for Accommodation Contracts

- Article 2. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1);
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In case the Guest requests, during his/her stay, extension of the accommodation beyond the date in Item (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such a request is made.

Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

- Article 3. Guests are required to agree to these T&C as well as the respective Usage Terms when seeking accommodation at the Hotel.
2. In case a Guest is a minor (under 18 years of age), and the Hotel deems it necessary, the Guest must submit a letter of consent with the approval from the guardian or other legal representative when seeking accommodation at the Hotel.
 3. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same Article shall not be applied when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
 4. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provision of the preceding Paragraph, the Guest is required to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
 5. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guests, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 19 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 13.
 6. When the Guest has failed to pay the deposit by the date stipulated in Paragraph 4 of Article 3, the Hotel shall consider the Accommodation Contract as invalid. However, the same paragraph shall be applied only in case the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

- Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 4 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract not requiring the accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In case the Hotel has not required the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 4 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be considered that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Refusal of Accommodation Contracts

Article 5. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following reasons:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these T&C;
- (2) When the Hotel fully booked and no rooms are available;
- (3) When the person seeking accommodation is a patient or a person with symptoms, etc. (as defined in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act, hereinafter the same definition) of a specific infectious disease (hereinafter referred to as "Specific Infectious Disease") as defined in Article 2, Paragraph 6 of the Hotel Business Act (Act No.138, 1948 including subsequent revisions);
- (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or any other unavoidable causes;
- (5) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation;
- (6) When there is a recognized risk of Customer Harassment Behavior (as defined in the Attached Table 2) caused by the person seeking accommodation;
- (7) When the Guest seeking accommodation acts violently, makes threats, intimidates, makes violent demands, or makes any other coercive or unreasonable demand or action;
- (8) When the Guest seeking accommodation acts disruptively or dangerously, causing distress to other Guests, or behaves in any other way which may cause trouble for the facility or other Guests;
- (9) When the person who intends to lodge is recognized to fall under A-C below;
 - A. An Organized Crime Group as defined in the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) Article 2, Item 2, an Organized Crime Group Member as defined in Article 2 Item 6 of the said act, a quasi-member of an Organized Crime Group, an individual associated with an Organized Crime Group, and/or any other anti-social forces;
 - B. A corporation or an organization engaged in business activities which are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member;
 - C. A corporation in which any officers are Organized Crime Group Members;
- (10) When it is recognized that the lodging Guest is heavily drunken or in a similar state and threatens to cause a serious nuisance to other Guests, etc.;
(Nagoya City ordinance to enforce the Hotel Business Act, Article 5)
- (11) When the Guest otherwise fails to abide by the Usage Terms established by the Hotel.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

Article 6. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.

2. In case the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 4 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 3. However, in case a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In case the Guest does not appear by 8 p.m. on the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of such) without advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

Article 7. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases. Furthermore, the Hotel assumes no responsibility for damages incurred from a cancellation of the Accommodation Contract conducted in accordance with this Article;

- (1) When the guest is a patient, etc. with a Specific Infectious Disease;
- (2) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (3) When it is recognized that the lodging guest threatens to engage in or has engaged in acts against the provisions of

- laws and regulations, public order or social customs during his/her stay;
- (4) When a Guest is deemed to pose a risk of Customer Harassment Behavior (Attached Table No. 2) during his/her stay;
 - (5) When the Guest acts violently, makes threats, intimidates, makes violent demands, or makes any other coercive or unreasonable demand or action;
 - (6) When the Guest acts disruptively or dangerously, causing distress to other Guests, or behaves in any other way which may cause trouble for the facility or other Guests;
 - (7) When the guest is deemed to fall under A-C below;
 - A. An Organized Crime Group, an Organized Crime Group Member, a quasi-member of an Organized Crime Group, an individual associated with an Organized Crime Group, and/or any other anti-social forces;
 - B. A corporation or an organization engaged in business activities which are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member;
 - C. A corporation in which any officers are Organized Crime Group Members;
 - (8) When it is recognized that the lodging Guest is heavily drunken or in a similar state and threatens to cause a serious nuisance to other Guests, etc.;
- (Nagoya City ordinance to enforce the Hotel Business Act, Article 5)
- (9) When it is discovered that a minor guest (under 18 years of age), falsely claimed to have obtained the consent from the guardian or other legal representative, or falsely claimed to be of legal age;
 - (10) When the Guest otherwise fails to abide by the Usage Terms established by the Hotel.
2. In case the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any services which he/she did not receive during the contractual period.

Registration

Article 8. The guest shall register the following particulars with the Front Desk clerk of the Hotel on the day of accommodation;

- (1) Name, address and contact information of the Guest(s);
 - (2) In case of a non-Japanese Guest without a domestic address in Japan, his/her nationality and passport number;
 - (3) Date of arrival, date of departure, and estimated time of departure;
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In case the Guest intends to pay his/her Accommodation Charges prescribed in Article 13 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, vouchers, credit cards or electronic money, etc., the Guest must present the said credential in advance at the time of Registration prescribed in the preceding Paragraph, and confirm whether or not the form of payment can be accepted for payment by the Hotel.

Accommodation capacity

Article 9. The maximum occupancy limit for Guestrooms is 5 persons. If an adult Guest intends to sleep or occupy a bed together with a child Guest, such a case is limited to one child per bed and the child must not be older than 12 years of age.

Occupancy Hours of Guestrooms

Article 10. The Guest is entitled to occupy the contracted guestroom of the Hotel from 3 p.m. to 11 a.m. to the next day. However, in the case the guestroom is contracted continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the Preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
- (1) Late Check-Out:

For check-outs after 11:00 AM and until 2:00 PM, an additional charge of ¥1,000 per hour per person will apply.
After 2:00 PM, 100% of the regular room rate will be charged.
 - (2) Early Check-In:

For check-ins before 3:00 PM and until noon, an additional charge of ¥1,000 per hour per person will apply. For check-ins before noon, 100% of the regular room rate will be charged.

Observance of Usage Terms

Article 11. The Guest shall observe the Usage Terms established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Business Hours

Article 12. The business hours of the Front Desk, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be specified in detail by brochures as provided, the Hotel's official website, notices posted in various places, service directories in guestrooms and in other ways deemed suitable by the Hotel:

Service hours of Front Desk, Cashier's desk etc.:

- A. Closing time: None;
 - B. Front Desk: 24-hour service;
 - C. Cashier's Desk: 24-hour service;
 - D. Restaurant operations: As indicated in the service directory.
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes on the part of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Payment of Accommodation Charges

Article 13. The breakdown of the Accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

- 2. Accommodation Charges etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks, vouchers, credit cards, or electronic money, recognized by the Hotel at the Front Desk at the time of the arrival of the Guest or upon request by the Hotel.
- 3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for the Guest by the Hotel and which are at his/her disposal.

Liabilities of the Hotel

Article 14. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the non-fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreement. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

- 2. The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other incidents/accidents.

Handling when unable to provide Contracted Rooms

Article 15. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

- 2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations.

However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Handling of Deposited Articles

Article 16. In case the articles, cash and/or valuables deposited by the Guest at the Front Desk have been lost or damaged, the Hotel shall compensate for the damage, unless the loss or damage has been caused by force majeure. However, in the case of cash and valuables, the Hotel shall do so only when the Guest has clearly reported the kind and value of such cash and valuables at the Hotel's request. Otherwise, the Hotel shall compensate for the damage up to the maximum amount of 150,000yen.

- 2. In case a Guest has brought articles, cash and/or valuables into the Hotel, but has not deposited them at the Front Desk, the Hotel shall compensate for the loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on the part of the Hotel, except when the Guest has not clearly reported to the Hotel beforehand the kind and value of such items lost or damaged, in which case the Hotel shall compensate for the loss or damage up to the maximum amount of 150,000yen unless the Hotel is intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

Article 17. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in case such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his/her check-in.

2. In case the baggage or belongings of the Guest are found left behind after his/her check-out, and the ownership of the article is identified, the Hotel shall inform the owner of the article left, and ask for further instructions.
In case no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership cannot be identified, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period the Hotel shall turn the article over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Liability in Regard to Parking

Article 18. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as the Hotel solely offers the space for parking, whether the key to the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Liability of the Guest

Article 19. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Amendment of Terms and Conditions and Usage Terms

Article 20. The Hotel may amend these Terms and Conditions and Usage Terms (hereinafter referred to T&C, etc.) at its discretion in the following cases, and Guests shall be deemed to have accepted these changes without objection:

- (1) When the changes are in the general interest of Guests;
- (2) When the changes in T&C, etc. do not contradict the purpose of the contract and are reasonable in light of the necessity for change, the appropriateness of the content after the change, and other relevant circumstances.
2. When the Hotel changes the T&C, etc. based on the previous Paragraph, the Hotel will announce the fact that the T&C, etc. shall be amended, the contents of such changes, and their effective date on the Hotel's official website at least one month prior to the effective date.
3. When a Guest uses the Hotel's services after the effective date of the amended T&C, etc. the Guest is regarded to have agreed to the changes in the T&C, etc.

Disclaimer

Article 21. Guests may utilize the Hotel's internet connection service on their own responsibility. The Hotel is not liable whatsoever for any damages caused as the result of any interruption that may occur due to system malfunction or any other reason during the use of the internet services. Furthermore, in case usage of the internet services by a Guest is judged inappropriate by the Hotel and has resulted in damage to the Hotel or other third parties, the Guest shall be liable for compensation of such damages.

Governing Language and Law

Article 22. These Provisions are written both in Japanese and in English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these Provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

2. Any dispute arising from/or in relation to these Provisions shall be referred to the Japanese court having jurisdiction over the location of the Hotel and resolved in accordance with applicable Japanese laws.

Attached Table No. 1: Breakdown of the Accommodation charges, etc.

(Related to Article 2, Paragraph 1 and Article 13, Paragraph 1)

Total amount to be paid by	Accommodation Charges	Contents
		(1) Basic Accommodation Charges (Room Charge) (2) Service Charge ((1)×10%)

	Extra Charges	(3) Meals and Drinks (4) Service Charge ((3)×10%) (5) Other expenses.
	Taxes	Consumption Tax

Remarks on Table No.1

1. Other expenses under (5) include telephone and laundry charges, extra bed etc.

Attached Table No. 2 Customer Harassment Behavior (Related to Article 5, Paragraph 6 and Article 7, Paragraph 4)

Repeated requests by a guest to the Hotel that include difficult demands for a reduction in accommodation fees or other matters that are not easily achievable (except when seeking the removal of barriers based on the Act on Promotion of Elimination of Discrimination against People with Disabilities, Article 2, Paragraph 2), or requests involving rude or violent language or behavior and other acts that impose a mental/physical burden on the Hotel employees (except for deeds caused by the operator's unfair and/or discriminatory treatment as defined in Act 8, Paragraph 1 of the Act on Promotion of Elimination of Discrimination against People with Disabilities, or with similar valid reasons) and require more than the usual service efforts (such as those listed below) of the Hotel, shall be deemed to be Customer Harassment Behavior:

- Physical attack (assault, injury, etc.) or mental attack (threats, abusive language, slander, etc.);
- Demand for the Hotel employee to get down on his/her hands and knees, and bow down to the ground;
- Restrictive acts exceeding a certain length of time, such as sit-in or confinement (including unreasonably long phone calls);
- Accusing employees in a loud voice, or using abusive language, etc.;
- Refusal to pay cancellation fees based on unreasonable reasons, excessive demands for refunds, for replacement of merchandise and/or for monetary compensation, etc. (including inappropriate requests for excessive services beyond the reasonable range compared to other guests, and repeated unreasonable demands for discounts on accommodation fees);
- Behavior demanding the Hotel to take responsibility, including repetitive questioning and/or demands for apologies, and/or claims, etc. using methods lacking social relevance;
- Excessive demands or complaints about matters that cannot be accommodated due to operational rules or systems;
- Threats of disclosure on social media or to the mass media (including the public release of employees' names);
- Any behavior that constitutes stalking of an employee.

Attached Table No. 3: Cancellation Policy and Charges (Related to Article 6, Paragraph 2)

Date when Cancellation of Contract is Notified	Contracted Number of Guests	Group		
	Individual	15 to 60	61 and more	
No Show	100%	100%	100%	
Accommodation Day	100%	100%	100%	
1 Day Prior to Accommodation Day	20%	50%	100%	
7 Days Prior to Accommodation Day		20%	30%	
21 Days Prior to Accommodation Day			15%	

Remarks on Table No.3

1. The percentages signify the rate of cancellation charge of the Basic Accommodation Charges (Guests).
2. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for the first day of the cancelled period shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking for 15 Guests or more is cancelled, the cancellation charges shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of Guests booked as of 10 days prior to the occupancy. When the cancellation is accepted less than 10 days prior to the occupancy, the date of acceptance shall apply, and any fractions shall be rounded up to the nearest whole number.

4. However, in case a specific penalty agreement in case of breach of contract was closed separately, such an agreement shall take precedence over the amount defined in this table.

Last revision: January 15, 2025

ホテル JAL シティ名古屋 錦 利用規則

当ホテルではすべてのお客様に、安全かつ快適にお過ごしいただきますように、宿泊約款第10条の定めにある通り、下記の規則をお守りくださいますようお願いいたします。この規則をお守りいただけないときは、宿泊約款第7条により、ご宿泊契約及びこれに関連する契約を解除させていただく場合もございます。

火災予防上お守りいただきたい事項

1. 火災の発生しやすい場所での火気器具の使用はご遠慮ください。
2. 客室内で暖房用、炊事用等の火気器具等のご使用にならないでください。
3. 客室入口ドアの裏側に掲示してある避難経路図及び各階の非常口をご確認ください。

保安上お守りいただきたい事項

1. 客室から出られる時は、施錠をご確認ください。ご在室中や特に就寝の時は施錠し、ドア・ラッチをおかけください。訪問者がございます場合は、ドア・スコープで確認されるか、ドア・ラッチを掛けたまま開戸してご確認ください。
2. 客室に外来のお客様をお招きにならないでください。
3. 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可がない限りお断りしております。

貴重品、お預かり品のお取り扱いについて

1. お忘れ物、遺失物の処置は法令にもとづいてお取り扱いさせていただきます。
2. 現金、貴金属等の貴重品は客室内備付けの金庫に保管されるか、フロントの貸金庫（無料）にお預けください。それ以外の場所での紛失について、ホテルは一切責任を負いかねます。

お支払について

1. お買物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、荷物の送料等の立替えはお断りさせていただきます。

2. ご精算は、ホテル到着時、またはフロントからご請求させていただいた際、お支払いください。
3. ホテル内のレストラン、バー等をご署名によって利用される場合は、客室の鍵又は宿泊カードをご提示ください。
4. 客室内より電話をご利用の際は施設利用料が加算されます。
5. ご予定の宿泊日数を変更なされる場合は、予めフロントにご連絡ください。ご延泊の場合はそれまでのお支払いをお願い申し上げます。
6. ご滞在中、フロントから請求書の提示がありましたら、その都度お支払いください。
7. 料金のお支払いは通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、クーポン券、電子マネー、若しくはクレジットカードによりフロントにてお支払いください。尚、旅行小切手以外の小切手でのお支払いには応じかねますのでご了承ください。
8. 勝手ながら所定の税金のほかお勘定の 10%をサービス料として加算させていただきます。従業員への心づけはご辞退申し上げます。

固くお断りする事項

1. ホテル内に次のようなものをお持ち込みにならないでください。
 - (イ) 動物などその他のペット一般上記の定めに関わらず身体障害者補助犬法に定める盲導犬・聴導犬・介助犬の同伴は可能です
 - (ロ) 悪臭・異臭を発生するもの
 - (ハ) 著しく多量な物品
 - (ニ) 火薬・揮発油等発火または引火しやすいもの
 - (ホ) 所持を許可されていない鉄砲、刀剣類
 - (ヘ) その他、法で所持を禁じられているもの
2. ホテル内でとばくまたは風紀を乱すような行為はなさないでください。
 3. ホテル内で他のお客様にご迷惑を及ぼすような高声、放歌、または喧騒な行為はなさないでください。
 4. 客室内の諸設備や物品などを許可なくホテルの外への持ち出し、他の場所へ移動させないでください。
 5. 不可抗力以外の事由により建造物、家具、備品その他の物品を損傷、紛失あるいは汚染された場合には、相当額を弁償していただくことがあります。
 6. 客室を当ホテルの許可なしに宿泊および飲食以外の目的にご使用にならないでください。
 7. ホテル内の営業施設以外の場所に許可なく立入らないでください。
 8. ホテル外から許可なしに飲食物のご注文や持ち込はなさないでください。

9. ホテル内では許可なしに、広告物の配布、掲示または物品の販売等はなさないでください。
10. 廊下やロビー等の場所に所持品を放置なさないでください。
11. ホテルの外観を損なう様なものを窓側やバルコニーに陳列なさないでください。
12. ホテル内で撮影された写真等を許可なく営業上の目的で公になさることは、法的措置の対象となる場合がありますのでご注意ください。
13. ゆかた、パジャマ、スリッパなどで、廊下、ロビーなど客室以外でのご利用はお控えください。
14. 当ホテルを利用する方が心神衰弱、薬品などによる自己喪失など、ご自身の安全確保が困難であり、他のお客様に危険な恐怖感、不安感を及ぼす恐れがあると認められたときは、ご利用をお断りいたします。
15. 暴力団等反社会勢力およびその関係者ならびに公共の秩序、善良風俗に反する恐れのある場合には、予約成立後あるいはご利用中であっても、事実が判明した時点でお断りさせていただきます。

以上

ホテル JAL シティ名古屋 錦 料飲規約

ホテル JAL シティ名古屋 錦のレストラン、及びルームサービス（以下「料飲施設」といいます）では、お客様にご満足をいただけるようご利用に関して、下記の利用規約を設けておりますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

第 1 条 《ご利用の拒否、および予約・契約の解除》

次に掲げる場合において、ご利用（ご利用に際しての予約・契約を含む）をお断りいたします。また、予約・契約を締結した後において、その事実が判明した場合は、予約・契約を解除させていただきます。

(1) 利用者に次の事由に該当する者がいる場合

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成 3 年法律第 77 号）による指定暴力団及び指定暴力団員等またはその関係者、その他反社会的勢力（以下「暴力団等」という。）暴力団等が事業活動を支配する法人その他の団体又はその構成員

暴力団等が該当する者が役員となっている法人又はその構成員

法令又は公序良俗に反する行為をする恐れがあると判断される者

(2) 料飲施設の他の利用者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(3) 料飲施設もしくは料飲施設の従業員に対し、暴力・脅迫・恐喝・威圧的な不当要求を行い、或いは合理的範囲を超える負担を要求したとき、又かつて同様な行為を行ったと認められるとき。

(4) この料飲施設利用規約に違反したとき（違反する恐れがあると料飲施設側が判断した場合を含む。）

(5) 料飲施設利用について、その利用を容認できないと料飲施設が判断したとき。

(6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により利用できない場合。

(7) 客室用スリッパ、タンクトップなど施設にそぐわない服装であると判断した場合。

(8) 感染症患者であると明らかに認められる場合。

第 2 条 《利用規約の遵守》

料飲施設利用客は料飲施設内においてはホテル内に掲示したホテル JAL シティ名古屋 錦利用規約に従っていただきます。

第 3 条 《弊社の食物アレルギー対応について》

オークラニッコーホテルマネジメントでは、飲食事業における食物アレルギー対応については「小麦・卵・乳成分・くるみ・えび・かに・そば・落花生」（以下特定原材料 8 品目）以外のアレルギー物質（以下アレルゲン）について、食品製造業において表示が義務化されていないことから、提供・使用する加工品（半製品・既製品・調味料など）について正確な情報を収集す

ることは容易ではないこと、また「飲食事業において、厨房の専用化が困難につき、環境から様々なアレルゲンが混入する可能性が否定できないこと」を勘案し、『オークラニッコーホテルマネジメントの食物アレルギー対応ポリシー』を定めます。

(1) 目的

弊ホテルではお客様がレストランや宴会場でのお食事をお楽しみいただけるよう、以下の通りの食物アレルギー対応をいたしております。

(2) 表示の範囲

使用食材につきましては、特定原材料 8 品目を表示しております。

(3) 情報の入手方法

表示するアレルゲン情報は生産元、製造・販売元からの情報をもとに確認しております。」

(4) 情報の掲示方法

弊ホテル、レストラン CAFE CANAL 1610 におきましては、特定原材料 8 品目の使用について表示しております。

(5) 注意喚起

調理厨房では、表示に無いアレルゲンを含む原材料を扱っています。また、調理器具や食器類は十分に洗浄しておりますが、専用化しているものではございません。

(6) 合意事項

以上について、ご了承の上、レストランのご利用に際しては、お客様にて最終的なご判断を頂きますようお願いいたします。

第 4 条 《料飲施設キャンセル料》

料飲施設のご利用について、以下の場合キャンセル料を申し受けいたします。10 名以上の団体については、別表(下記、「団体キャンセレーション表」)参照

ご予約日の前日、営業時間 18 時までにご連絡いただけない場合。

前日 50%

当日 100%

(1)料理内容の規定のキャンセル料を申し受けいたします。

(2)料理がお決まりでない場合、ご予約時刻での最低コース料金をご人数分申し受けいたします。※天災などのやむを得ない理由でのキャンセルは該当いたしません

第 5 条 《禁止事項》

(1)buffet形式の料飲施設等にて、包装容器等に食材や、什器・備品等を入れ持ち帰る行為。

(2)buffet形式の料飲施設等にて、お一人様で、料飲施設の想定をはるかに超える量の料

理を召し上がること。

(3) ブッフェ形式の料飲施設等にて、他のお客様にお料理が行き渡らないほどの量の料理を一度に取られる行為。

(4) 他のお客様が不快になるような召し上がり方(料理の取り方)をされること。

(5) 犬・猫・小鳥その他愛玩動物、家畜の持込。(但し、盲導犬、聴導犬、介助犬の同伴はこの限りではない。

(6) 発火又は引火性の物品などの危険物の持ち込み。

(7) 悪臭を発する物の持込。

(8) 賭博等風紀を乱す行為又は他のお客様のご迷惑になるような言動。

(9) 料飲施設備品等の移動。

(10) ホテル外からの飲食物の持込み及び取寄せ。

(11) 予約時の使用目的以外での使用。

(12) 料飲施設での携帯電話(通話)の使用。

(13) 法令で禁止されている行為。

(14) ホテル宿泊約款第7条1項に記載ある事項の行為

ホテル内すべての客室(浴室・トイレを含む)、レストラン、及びパブリックエリアは、たばこ、電子・加熱式たばこ等を含み禁煙です。たばこの吸い殻も火災予防上、客室への持込をお断りいたします。喫煙、吸い殻を捨てる場合は、ホテル指定の喫煙スペースをご利用ください。

第6条 《事故・盗難等》

ホテル内、又は料飲施設内において、お客様側の管理下にて発生した事故・盗難等につきましては、ホテル、又は料飲施設側は一切の責任を負いかねますので十分にご注意ください。

第7条 《営業》

料飲施設の営業時間は備えつけパンフレット、各所の表示等でご案内いたします。

又、必要やむを得ない場合には臨時に営業時間の変更又は休業することがあります。その場合には弊ホテルホームページにてお知らせいたします。

第8条 《駐車料金》

当ホテルの料飲施設をご利用の場合、当ホテル1階駐車場のみ割引規定を設けております。お会計の際に、駐車時に発券されるチケットをご提示ください。

第9条 《免責事項》

料飲施設で販売をしているケーキ等のテイクアウト商品は消費期限を過ぎた後に関して料飲施設はその責任を負いかねます。

メニューは仕入れ等の都合により変更をさせていただく場合があります。
アレルギーのあるお客様は予めお申し出いただきます。お申し出がない場合はお客様の責任により対応していただく事柄とさせていただきますのでご了承ください。

第 10 条 《損害賠償》

お客様が故意に料飲施設の施設・什器等を破損、及び損傷しないよう充分にご注意ください。
もし、施設・什器備品等に損傷等損害が発生した場合は、その修理に関して料飲施設よりご指示申しあげますので、すみやかに修理していただくか、相当額を弁償していただきます。

別表第 1 団体キャンセルション表 (第3条)

		当 日	前 日	2 日 前	7 日 前	14 日 前
個 人	9名まで	100%	50%		-	-
団 体	10～60名まで	100%	100%	50%	50%	30%
	61名以上	100%	100%	100%	50%	30%

(注)

- (1)%は、基本コース料に対する違約金の比率です。
- (2)団体客（10名以上）の一部について契約の解除があった場合、利用当日の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における利用人数の5%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。
- (3)但し、別途個別の違約金契約を結んだ場合は、その取り決めに優先します。